



『鳥獣戯画を読みとく』

五味文彦／監修
岩崎書店 ￥3,600 (税別)

京都の高山寺に伝わる絵巻物「鳥獣戯画」は国宝に指定されている。日本最古のマンガとも言われ、動物図鑑のようでもある。見る人の想像力をかき立てる絵の謎に迫りながら、絵巻物のおもしろさを解説し、鑑賞の楽しさを伝える。



『虎の牙』

武川佑／著
講談社 ￥1,800 (税別)

山梨を舞台にした歴史ファンタジー。武田信玄の父、信虎の謎の弟である勝沼信友は「山神の呪」を背負いつつも、戦国の世を力よく生き延びる。運命に敢然と立ち向かう信友の姿が印象的で、特に合戦での奮闘の描写は迫力十分である。武田家のルーツへの思いを広げる一冊。



『なくなりそうな世界のことば』

吉岡乾／著 西淑／イラスト
創元社 ￥1,600 (税別)

世界の少数言語の中から、各言語の研究者たちが選んだ50の単語を絵と文で紹介する。日本ではアイヌ語が取り上げられ、今では上手に話せる人は一桁しか存在しないそうだ。一つの言葉から文化や民族について考えさせられる本。



『敗北を力に!』

元永知宏／著
岩波書店 ￥880 (税別)

甲子園で敗れた8人のその時と、その後を追った一冊。今だからこそ語ることができる、敗れた時の真実、敗れたからこそある現在の自分。甲子園にたどり着くまでに会った人々への思いなども熱く語られている。



『パンツ・プロジェクト』

キャット・クラーク／著 三辺律子／訳
あすなろ書房 ￥1,400 (税別)

中学1年生のリヴは、「女子の制服はスカート」という校則に疑問を持ち、服装規定を変える為に奮闘する。人にはそれぞれ違いがあり、その大切さを気づかせてくれる青春小説。



『一〇五度』

佐藤まどか／著
あすなろ書房 ￥1,400 (税別)

いすのデザイナーを目指す真と、立体モデルを作るモデラーの梨々。ともに中学3年生の2人はいすのデザインコンペに向けて極秘でタッグを組むが、思うように進まない。いす作りに情熱を注ぐ、中学生のひと夏を描く。



『ファニー13歳の指揮官』

ファニー・ベン=アミ／著 ガリャ・ロンフェル・アミット／編 伏見操／訳
岩波書店 ￥1,500 (税別)

恐怖にさらされながら、ナチスから逃げ続ける子どもだけのグループがあった。リーダーを任された13歳のファニーは、さまざまな困難に立ち向かっていく。フランスに暮らしていたユダヤ人少女の緊迫感あふれる実話。



『ぼくは13歳、任務は自爆テロ。』

永井陽右／著
合同出版 ￥1,400 (税別)

生き延びるために、ギャングやテロリストになる子どもたち。ソマリアでテロ組織から抜け出した少年たちを受け入れ、社会復帰を手助けするNPOを立ち上げた日本人の若者が、テロが無くならない理由と、テロを解決する取り組みを紹介する。

その他のおすすめの本

●『人間はだまされる』

三浦準司／著 理論社 ￥1,300 (税別)

●『101人が選ぶ「とっておきの言葉」』

河出書房新社／編 河出書房新社 ￥1,300 (税別)

●『100年の木の下で』

杉本リズ／著 佐竹美保／画 ポプラ社 ￥1,400 (税別)

●『ぼくはO・C・ダニエル』

ウェスリー・キング／作 大西昧／訳 鈴木出版 ￥1,600 (税別)

●『僕は上手にしゃべれない』

椎野直弥／著 ポプラ社 ￥1,500 (税別)

●『3つ数えて走りだせ』

エリック・ベッサン／著 平岡敦／訳 あすなろ書房 ￥1,300 (税別)

●『ラブリー!』

吉田桃子／著 講談社 ￥1,300 (税別)